

令和6年度 第3回村上市民の命の大切さと心の絆を深める自殺対策検討委員会 会議録

会議名	令和6年度 第3回村上市民の命の大切さと心の絆を深める自殺対策検討委員会
日 時	令和7年3月12日（水） 午後2時00分～午後3時00分
会 場	村上市役所5階 第4会議室
出席者	【委員等】 野田委員長、関副委員長、佐々木委員、板垣委員、木ノ瀬委員、佐藤竹四委員、齋藤研委員、忠委員、齋藤茂雄委員、長谷川委員、関谷委員、渡辺委員、川崎委員、寺澤オブザーバー ※欠席：的場委員、佐藤克哉委員 【関係課】 福祉課佐藤課長補佐、介護高齢課川村課長補佐、教育委員会学校教育課木村指導主事、消防本部警防課藤島係長 【事務局】 保健医療課：押切課長、船山課長補佐、中川課長補佐、工藤係長、小池主査、寺澤主任 荒川支所地域振興課：小林課長補佐 神林支所地域振興課：東海林課長補佐 朝日支所地域振興課：田嶋課長補佐 山北支所地域振興課：五十嵐課長補佐
1 開会 ・委員15名中13名の出席により会議が成立している旨の報告 2 挨拶 ・野田委員長より挨拶 3 協議題 ・委員長による進行 (1) パブリックコメント実施結果について（資料1） (2) 村上市自殺対策行動計画（第2次）素案について（資料2） (3) 村上市自殺対策行動計画（第2次）素案の答申について ・パブリックコメント、村上市自殺対策行動計画（第2次）素案、資料1及び資料2により事務局から説明 ・村上市自殺対策行動計画（第2次）素案より訂正箇所について説明。素案P107表題を「村上市民の命の大切さと心の絆を深める自殺対策検討委員会」に訂正 委 員 長：事前に皆さん資料に目を通していただいていたかと思いますが、事務局よりの説明で何か御質問があればお願いいたします。 委 員：パブリックコメントを募集して0件ということですが、他の計画でも同様なのか教えてください。 事 務 局：昨年度、保健医療課の所管で健康むらかみ21計画村上市食育推進計画（第3次）、そして村上市歯科保健計画（第3次）を策定しましたが、この際は、2件ずつの御意見をいただきました。 （市長入室）	

4 答申

- ・委員長より市長へ答申書の提出
- ・市長より挨拶

市長：昨年の7月に諮問をお願いいたしまして、この間皆様から様々な御意見をいただきながら、一次計画の振り返りを含めて、達成できたこと、できなかったこと、さらにはこれからどのような方向付けをしていくのかということ、議論いただいたと聞いております。いつも申し上げていることですが、どの命も失われてはならないものだと思います。それぞれが自殺に至る前に、どのようなアプローチをすべきなのか、またそのアプローチができていたのかというところが、求められることなのだと思います。今月は自殺対策の強化月間ということで、各自治体も色々な取組を行っております。本市におきましても、通年を通して取組を行っていますが、強化月間においては、ピンクリボンを着用したり、横断幕を掲げるといった取組を行っております。デリケートな問題ではありますが、みんなの共通事として、捉えていくことが大切だと思っております。今回、御答申いただきましたので、これまでの取組をしっかりと確認し、より効果が出るように取り組んでいきたいと考えております。とりわけ子どもたちや、季節ごとのタイミング、物価高などの社会情勢も注意深くみながら、対応していきます。この計画に基づいて、取組を進めさせていただきたいと思います。委員の皆様には、改めてお礼を申し上げます。

（市長退室）

5 報告

- （1）令和6年村上市の自殺の現状について（資料3）
- （2）村上市自殺対策行動計画の評価項目の進捗状況について（資料4-1）
令和6年度 保健医療課自殺対策主要事業報告（資料4-2）
 - ・資料3及び資料4-1、資料4-2について事務局から説明
 - ・事務局より資料の訂正箇所について説明
資料3「3 月別自殺死亡率」→「3 男女別、年代別死亡率」
資料4-2の地区講演会対象者「集落支援員」→「区長」

委員長：御質問があれば、お願いいたします。

委員：資料3の「3 男女別、年代別死亡率」について質問です。80歳以上の死亡率が突出しているように思うのですが、考えられる要因がありましたら教えてください。

事務局：80歳以上の方ですと、身体疾患をお持ちの方が多く見受けられ、そういった苦痛が大きいのではないかと考えております。

委員：ありがとうございます。民生委員の役割として、高齢者と関わる機会が多いので、質問しました。

委員長：補足します。過去の私の経験からですと、家族関係の問題などもあると思います。親子関係がうまくいかない、親の居場所がなくなるなどの問題もあります。健康問題もありますが、家族関係の問題で自死に追い込まれる方も結構多くいらっしゃいました。

他に御質問があれば、お願いいたします。他の委員の方々も御自身の取組の中で気づいたことなどあれば出していただければありがたいです。

委員：高齢者の自殺者の中で同居人のいる方が圧倒的に多いと思うのですが、今ほど委員長がおっしゃったように、同居人の方とうまくいかないことが自殺の原因の1つとなっているのかなと考えているのですが、その中で同居されている高齢者の中で何名中何パーセントが自殺したというような割合は把握しているのでしょうか。

事務局：把握しております。

委員：同居されている高齢者の自殺の割合はどのくらいなのでしょう。

事務局：令和6年の自殺者数が15名となっておりますが、そのうち6名が単身世帯となっております。それ以外の方（9名）が同居の世帯となっております。

委員：同居している高齢者が何名いてそのうち何名が自殺されたというような、割合は把握されているのですか。

事務局：自殺した方の中での分析はしているのですが、そういった分析はしておりませんでした。大変参考になりました。ありがとうございます。

委員：村上市自殺対策行動計画（第2次）素案のP18の中で、「60歳以上の高齢者の同居人あり」の割合が自殺者の中で高いとなっておりますが、そこがわからなければ、一概に同居している高齢者の自殺者数が多いとはいえないのではないのでしょうか。同居している高齢者の、あるいは一人暮らしの高齢者のそれぞれ何名が自殺しているということを把握しておく必要があるのではないですか。

委員：今の件ですけれども、家族といれば安心であるということではなく、家族という方でも注意していきましょうねという趣旨で、国や県は同居家族かどうかを大きく取り上げているということを御理解いただけると大変ありがたく思います。

委員：わかりました。ありがとうございます。

委員長：他に御質問があれば、お願いいたします。

委員：今の高齢者の自殺のことについてですが、資料3の2 年代別・男女別死亡者数で60歳代、70歳代、80歳代とそれぞれ吹き出しがついております。例えば、60歳代は4人となっております。ここを個別に、男女なのか同居か単身かをみていくことで、今の質問へのヒントになるのではないかなと思います。質問への回答にはならなくとも、ヒントになるのかなと思いました。

委員長：ありがとうございます。確かに数だけではなく、亡くなった方が同居だったのか、単身だったのかも含めて、資料として残していくと、もっと分かりやすいかもしれません。

事務局：今ほど御指摘いただきました資料3の2なのですが、男女別については分けて資料が作成されております。例えば60歳代ですと、棒グラフの下部分が男性となりますので、吹きだしの4名はすべて男性ということになります。同じように、70歳代では下のほうの吹き出しが4、上のほうの吹き出しが1となっておりますので、男性が4名、女性が1名亡くなっているというように見て頂ければと思います。

委 員：関連してなのですが、令和6年の60歳代4名の方は御家族と同居されていたのか、独居なのか、そこはお分かりになりますか。そういった趣旨の御質問だったと思います。

事 務 局：こちらの資料からでは、男女別しか読み取れません。事務局でこの方たちがお一人暮らしだったのか、御家族と同居されていたのかは把握しておりますので、今後分析したことを皆様にお伝えできるようにしていきたいと思います。

委 員 長：次回、新たな話合いができるかもしれません。他に何かございますか。

委 員：資料3の4 月別自殺死亡者数のところで、3月に一番自殺者数が多くなっていますが何か要因のようなものがあるのでしょうか。

事 務 局：一般的に考えられておりますのが、冬場ですと日照時間が短いとか、村上市ですとかなり雪も降りますので、雪の関係、後は進学などの環境の変化も多い時期になりますのでそういったところも影響しているのかなと思います。

委 員 長：3月、9月がだいたい多い月ということで言われていますが、年度変わりの異動など環境の変化が大きいことが要因の1つといわれています。また9月は夏休み明けということで学校が始まる月となります。資料3の4ですと、9月は少なくなっておりますが、一般的には季節の変わり目や、学校が始まるのにうまくなじめない子どもたちが自死に追い込まれるといったようなことも状況としてはあるようです。他に何かありますか。

オブザーバー：市とは様々な事業を一緒に実施させていただいているところですが、ホームページやラインで周知されているということでお話があったのですが、保健所とし共催している事業として「くらしとこころの総合相談会」があります。昨年までですと、「市報を見ました」と連絡が来るが多かったのですが、今年はラインで周知した後に「ラインを見ました」と、お電話をいただいたケースが多くて、ラインでの周知も効果があるのかなと思っていましたところ。総合相談会に限らず、ラインやホームページを見ての相談ケースは増えているのか、周知で効果があったのか教えてください。

事 務 局：保健医療課ではゲートキーパー養成研修についての周知を市報のほうに掲載させていただいております。その申し込みを電子申請でもできるように二次元コードを市報にも掲載させていただいたところ、かなり若い年代の申し込みが増えたなと感じております。

事 務 局：年代に応じてアプローチの仕方が異なってもよいと考えております。たとえば80歳以上の高齢者は、市報や担当する地域の方から手渡しで資料をいただいたりすることが有効であろうなと思っておりますし、若い世代においてはSNSなどの手法を用いた方が市報よりも内容が届く場合があるなと思っております。対象に応じて、実施や周知の方法を試行錯誤しながら考えている状況です。

委 員 長：他に質問はよろしいでしょうか。質問がないようですので、進行を事務局に返したいと思います。

6 その他

事務局：この自殺対策検討委員会ですが、令和6年度は今回で終了となります。自殺対策行動計画（第2次）につきましては、3月下旬から4月上旬に製本したものを皆様にお送りさせていただきます。また、来年度からの自殺対策検討委員会は通常の開催ということで予定しておりますので、よろしくお願いします。その他、皆様から質問等ございませんでしょうか。

（意見なし）

事務局：本日は皆様より、今後の資料の参考となる御意見をいただきましてありがとうございました。御質問がないようでしたら、副委員長より閉会の挨拶をお願いいたします。

7 閉会

- ・ 関副委員長より閉会挨拶